

ニューズレター No.9

日本リメディアル教育学会

<http://www.remedial.jp/> 発行人 小野博

2007（平成19）年9月28日発行

紀要は年2回発行へ

新年度の紀要（学会誌）編集委員長に、関東学院大学の金田徹（かなだとおる）氏が編集委員長に決定した。9月19日に編集委員会が開かれ、馬場眞知子氏が編集担当の副編集委員長、竹内芳衛氏が企画担当の副編集委員長に決定した。編集委員会での討議の結果：

1. 当面、3月と9月の年2回発行。
2. 原稿の随時受付。
3. 原稿種別の一部の名称変更。

投稿原稿種別	ページ数
論文（研究および実践）	6から8頁
研究ノート	4から6頁
教材解説	2から4頁
会員の本紹介	1頁

原稿の刷りあがりの状態が、MS WORD や一太郎のようなワープロソフトではプリンターの機種に依存するので、投稿者がPDF ファイルで提出していただくことにした。投稿された原稿が速やかに処理されるために、事前に査読委員をプール化して大量に確保しておくことが決まった。また、投稿者が受理された後の自分の原稿がどのような過程にあるのかを確認できるようにするために、Web 上で原稿の審査過程の確認を可能にすることにした。

大きな変更であるが、原稿が随時受付になった結果、各号の締め切りが無くなった。

編集委員会は、プールしてある原稿から順に掲載していくことになる。3月発行の紀要に掲載されるためには、審査等で時間がかかるかもしれないのでお約束はできないが、時間的に逆算すると、11月中の原稿投稿が必要である。

投稿に関する重要なお知らせ

Web 上での投稿システムの変更のために、現在は、原稿投稿が可能ではありません。投稿が可能になったことは、Web 上で通知します。10月中旬までにできるようになることを目途としております。

全国大会は8月11, 12, 13日

平成20年全国大会は、8月11日から13日に関東学院大学関内メディアセンター（<http://univ.kanto-gakuin.ac.jp/modules/media7/>）を会場として開催する。このセンターは、JR京浜東北線関内駅など4駅が利用でき、いずれも駅より5分の便利な場所にある。また、中華街、伊勢佐木町、ワールドポーターズ、山下公園など横浜の観光スポットが近くにある。

国際交流委員会発足へ

来年9月19日、20日に予定しているアメリカのリメディアル教育学会 NADE (National Association of Developmental Education) ハワイ支部との合同でのジョイント学会を成功させるためや、近隣諸国のリメディアルに関する学会と連携するために、国際交流委員会の発足を現在検討している。